

事務事業チェックシート

事務事業No 574 事業名 学校体育事業（新体カテストの実施、部活動指導員の配置など）

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	3	生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成
施策	2	健やかな体を育む教育の推進
取組方針	1	学校体育の充実

事業種別	継続		
事業期間	～ 永年		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	和歌山市スポーツ振興計画		
担当課・担当課長・Tel	学校教育課	東 康修	435-1139
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		保健体育費	
	目		体育振興費	
	大事業		体育振興事業	
中事業		学校体育事業		

1 事業内容

事業目的	「誰・何」をどういう状態にするための事業か 小・中・高校生の児童、生徒の体力の向上及び、競技技術の向上を図ることを目的に、各種競技大会の実施や、部活動指導員を派遣をすることにより、学校体育の育成と振興を図ります。		全体事業概要 各種競技大会の実施に係る一部費用の支出や、公立中学校、市立和歌山高等学校に、専門的な技術指導力を備えた指導者がいない場合等に、学校の要請を受けて派遣する外部指導者及び部活動指導員の非常勤報酬の支出、中学校総合体育大会に係る派遣補助金等を支出しています。 また、子どもの体力向上事業として、毎年、新小学1年生と新中学1年生に対し、パワーアップチャレンジ手帳を配布しています。			
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
各種競技大会の実施 体カテストの実施 小・中学校新1年生への「パワーアップチャレンジ手帳」の配布 全国高等学校総合体育大会近畿ブロック大会（和歌山県が幹事県）への補助		各種競技大会の実施 体カテストの実施 小・中学校新1年生への「パワーアップチャレンジ手帳」の配布 全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会への補助 近畿中学校総合体育大会（和歌山県）の開催	各種競技大会の実施 体カテストの実施 小・中学校新1年生への「パワーアップチャレンジ手帳」の配布 全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会への補助 部活動指導員の派遣	各種競技大会の実施 体カテストの実施 小・中学校新1年生への「パワーアップチャレンジ手帳」の配布 全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会への補助 部活動指導員の派遣	各種競技大会の実施 体カテストの実施 小・中学校新1年生への「パワーアップチャレンジ手帳」の配布 全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会への補助 部活動指導員の派遣	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	82,326	71,980	13,129	15,107	10,306	10,751	9,140	9,140	9,140	
伸び率（%）	-	-	▲84.1%	▲79.0%	▲21.5%	▲28.8%	▲11.3%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	7,842	8,635	8,635	9,671	9,671	9,611	9,611	9,611	9,611
	正規職員以外	70	834	834	3,861	3,861	3,999	3,999	3,999	3,999
	小計	7,912	9,469	9,469	13,532	13,532	13,610	13,532	13,532	13,532
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	82,326	71,980	13,129	15,107	10,306	10,751	9,140	9,140	9,140	
所要人数（人）	正規職員	1.01	1.14	1.14	1.22	1.22	1.21	1.21	1.21	1.21
	正規職員以外	0.02	0.38	0.38	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05
主な予算内訳	会場その他借上料 1,286千円、 全国高等学校総合体育大会ヨット競技開催補助金 3,722千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 各種競技大会実施件数	件	目標値	32	32	32	32	32
		実績値	31	32	30		
		達成度(%)	96.8%	100.0%	93.7%		
活動指標 運動部活動外部指導者数	人	目標値	35	35	35	10	10
		実績値	34	38	37		
		達成度(%)	97.1%	108.6%	108.5%		
成果指標 小学生の体カテストの全国平均を（数値=50）とした場合の合計点（Tスコア）	点	目標値	50	50	50	50	50
		実績値	48	49.7	50.7		
		達成度(%)	96.0%	99.4%	101.4%		
成果指標 中学生の体カテストの全国平均を（数値=50）とした場合の合計点（Tスコア）	点	目標値	50	50	50	50	50
		実績値	46.4	50.3	49.3		
		達成度(%)	92.8%	100.6%	98.6%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>各種体育大会を開催することで、児童や生徒の健全育成や、他校児童、生徒との親睦や交流が図れることから、引き続き事業を継続し、生涯にわたり体育スポーツに親しむ基礎を培うことで、健康で豊かな学校生活を送ることができま</p> <p>また、子どもの体力が低下傾向にあることから、体力向上に向けた取組みとして、パワーアップチャレンジ手帳を配付し、自分自身が体力テストの結果を記入することで、意識付けを行い、体育・スポーツに対し、真剣に取り組む姿勢が身に付く。</p>
見直し・改善内容	<p>事業を最優先事項と捉え、各種競技大会などを開催する中で、小・中学校の児童や生徒の健全な育成が、より一層図れるように改善していく。</p>